

栃木県企業局経営戦略（平成 28 年度～令和 7 年度）の改定

1 経営戦略の改定

人口減少や施設の老朽化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした社会経済の変化など、経営環境が一層厳しさを増す中であっても、企業局が的確にニーズに対応し、安定してサービスを提供することによって、県勢の発展や県民の福祉に貢献していくことができるよう、計画の中間年度となる令和 2 年度に経営戦略の改定を行う。

2 経営環境の変化と課題

- ・人口減少により料金収入等が減少する中でも、安定した経営を行う必要がある。
- ・多くの施設が耐用年数を迎える中、修繕・更新費用の増大が見込まれることから、計画的に対応していく必要がある。
- ・頻発・激甚化する災害や新型コロナウイルス感染症の拡大下でも、ライフラインや産業インフラの担い手として責任を果たしていく必要がある。
- ・社会経済が変化する中でも、利用者等のニーズに的確に応えていく必要がある。
- ・SDGs の推進など、新たな視点から地域貢献を行う必要がある。

3 経営方針

「安定的なサービス提供」「経営基盤の強化」「地域や環境等への貢献」という 3 本の柱を基本とし、安定的な経営に努める。

(1) 安定的なサービス提供

- ・安全で安心できる県民生活の実現に向けて、災害発生時や新型コロナウイルス感染症の拡大下でも事業を継続していくことができるよう、ハード・ソフト両面の強靱化を推進する。
- ・投資の平準化に努めながら、計画的・効率的な施設の修繕・更新を行う。
- ・社会経済が変化する中でも、ニーズを的確に捉え、安全・安心なサービスを提供していく。

(2) 経営基盤の強化

- ・健全な事業運営を行うために、経費削減はもとより需要拡大や適切な料金設定等により収益確保に努める。
- ・各事業の収支見通しを踏まえ、必要に応じて会計間の資金融通を行うことにより、中長期的な視点から財政運営を行う。
- ・人材の確保・育成等により組織力を強化するとともに、IoT、AI などの先端技術を活用して業務の効率化に取り組む。

(3) 地域や環境等への貢献

- ・クリーンなエネルギーや安全な水道水の供給など、事業を通して SDGs の達成に貢献していく。
- ・事業実施を通じた地域経済の活性化に加えて、利益等を活用した地域貢献を推進していく。

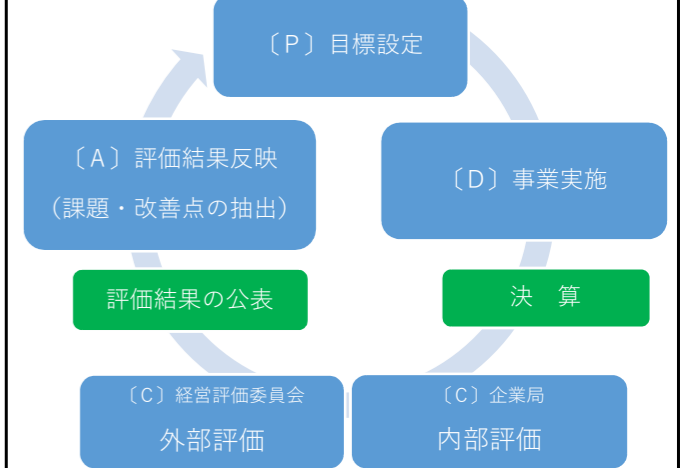
事業別経営戦略

	各事業の課題	経営方針	主な取組						
電気事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 災害発生時や新型コロナウイルス感染症の拡大下においても電力を安定供給 ▶ 施設の老朽化 ▶ 公営企業としての健全な運営 ▶ 新たな視点からの地域貢献の実施 ▶ SDGsの推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ハード・ソフト両面の強靱化 2 収益の確保とコスト縮減による財務基盤の強化 3 組織力の強化 4 事業利益等を活用した地域貢献 5 水力発電の推進によるSDGs達成への貢献 	<ol style="list-style-type: none"> 1 アセットマネジメントによる発電施設等の適切な維持管理と更新・強化 1 実践的な防災訓練の実施等による業務継続体制の強化 1.2 電力市場や新制度等を見極めた発電所の改修（効果的な投資） 3 大学訪問等による新規人材や継続雇用による経験豊富な職員の確保 3 研修の充実、資格取得の推進による人材育成 1.3 AIやIoT等の先端技術を活用した発電所の管理機能強化 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 4 県財政への利益繰出し等による地域貢献の推進 						
				<ul style="list-style-type: none"> ▶ 災害発生時や新型コロナウイルス感染症の拡大下においても安全な水道用水を安定供給 ▶ 施設の老朽化 ▶ 供給水量の減少 ▶ 公営企業としての健全な運営 ▶ SDGsの推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ハード・ソフト両面の強靱化 2 水質管理の向上 3 経費削減や適切な料金設定による財務基盤の強化 4 組織力の強化 5 長期的展望からの経営改革 6 水道用水供給によるSDGs達成への貢献 	<ol style="list-style-type: none"> 1 アセットマネジメントによる浄水施設等（管路等を含む）の適切な維持管理と更新・強化 1 実践的な防災訓練の実施等による業務継続体制の強化 2 精度管理による水質の信頼性向上 3 経費削減、県供給水量の拡大や適切な料金設定による収益の確保（健全経営） 4 大学訪問等による新規人材や継続雇用による経験豊富な職員の確保 4 研修の充実、資格取得の推進による人材育成 3.5 広域化や民間活用等将来見通しを踏まえた経営改革の推進 6 安全な水とトイレを世界中に 3 すべての人に健康と福祉を 			
							<ul style="list-style-type: none"> ▶ 災害発生時や新型コロナウイルス感染症の拡大下においても工業用水を安定供給 ▶ 施設の老朽化 ▶ 供給水量の減少 ▶ 公営企業としての健全な運営 ▶ SDGsの推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ハード・ソフト両面の強靱化 2 とちぎのものづくりを支える産業基盤の整備 3 経費削減や需要拡大等による財務基盤の強化 4 組織力の強化 5 工業用水供給によるSDGs達成への貢献 	<ol style="list-style-type: none"> 1 アセットマネジメントによる施設等（管路等を含む）の適切な維持管理と更新・強化 1 実践的な防災訓練の実施等による業務継続体制の強化 2.3 社会経済の変化等を踏まえた企業ニーズの調査・分析 2.3 採算性を考慮しながら、芳賀第2産業団地等の給水地域拡大を推進 3 経費削減、新たな料金メニューの創設等による需要拡大の推進 4 大学訪問等による新規人材や継続雇用による経験豊富な職員の確保 4 研修の充実、資格取得の推進による人材育成 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 8 働きがいも経済成長も
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新型コロナウイルス感染症の拡大 ▶ ゴルフ人口が減少する中での利用者確保 ▶ 施設の老朽化 ▶ 公営企業としての健全な運営 ▶ SDGsの推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 多くの利用者に気軽に安全・安心なゴルフライフを提供 2 計画的で効果的な設備投資 3 利益確保による財務基盤の強化 4 事業を通じたSDGs達成への貢献 	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染症対策の徹底等、新たな日常に対応したサービスの提供 1 良好なコースコンディションの維持、多彩なコンペの開催によるシニアやリピーターの確保 1 低料金でも必要な利用者サービスを維持しながら、シンプルなサービスへ転換 1.2 女性・ジュニア層の利用拡大への取組 2 設備のシンプル化、長寿命化、更新・修繕経費の平準化 3 利用者確保による指定管理者納付金の維持 3 すべての人に健康と福祉を 							
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 施設の老朽化 ▶ 公営企業としての健全な運営 ▶ SDGsの推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全で快適な施設環境の提供 2 入居率100%維持による経常黒字の確保 3 事業を通じたSDGs達成への貢献 	<ol style="list-style-type: none"> 1 適切な施設の維持管理及び点検の実施 1 区分所有者と協力した計画的な施設の修繕・更新 2 快適な施設環境の提供による入居団体の維持と収益の確保 11 住み続けられるまちづくりを 				

経営戦略の推進

▶ PDCAサイクルの確立
 ・経営戦略の計画的、効率的な推進を図るためPDCAサイクルを確立します。

【PDCAサイクル】



▶ 達成度の評価
 ・各事業毎に設定する、財務面と事業面の目標値から達成度を評価し、事業運営に反映します。
 ※財務面については、経営指標などを用いて経営の安定性や健全性についての評価も行います。

▶ 透明性の確保
 ・達成度は、企業局で内部評価を行ったうえで、有識者や専門家を構成員とする「栃木県企業局経営評価委員会」で専門的な見地から意見を聴取します。（客観性を確保）
 ・各年度の決算状況に加えて設定した目標とその達成度の評価は、企業局のHPで公表するなど、経営の透明性の向上に努めます。